

編集後記

2020年から続く新型コロナウイルス感染症は感染の波を繰り返し、様々な活動を制限してきました。その中でもウイルスの特徴を踏まえ社会・経済活動が行われています。2023年5月には感染症法の分類において第5類への引き下げが予定され、ウイルスとの共生がさらに密接になると予想されますが、その研究活動は Pandemic 前にはなかった Remote という武器をもって活発化していくと予想されます。我々も新しい波に乗り損ねないようにすべての身体活動またはそれに代わる人に貢献できる研究所を目指していきたいと思えます。

東海大学スポーツ医科学雑誌も第35号の発刊の運びとなりました。本年度も発刊を迎えられたことに安堵しています。第35号刊行にあたって、ご寄稿いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

編集委員長 宮崎 誠司